

販売

上下水道管・管芯・管底測定器

カンシンクンジュニア I / II

上下水道管に置くだけで、管芯と管底が簡単に測定できます

バカ棒、下げ振りを使用した方法に比べると、正確で2倍以上のスピードで施工されます。



※写真はカンシンクンジュニアIIです



※写真はカンシンクンジュニアIIです

用途

上下水道管（塩ビ管、ヒューム管、陶管）の、管芯と管底を測定します。

※ヒューム管、陶管は、カンシンクンジュニアIIのみ管内測定はカンシンクンジュニアIIのみ

特徴

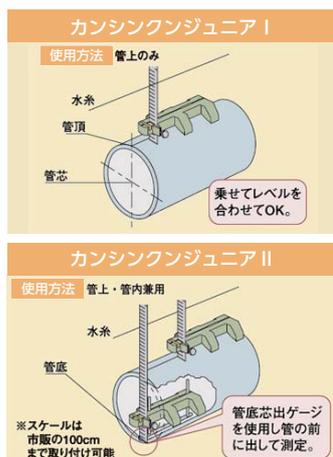
■上下水道管の埋設工事での管芯・管底の測定ができます。

バカ棒、下げ振りを使用した方法に比べると、正確で2倍以上のスピードで施工できます。

■誰でも簡単に使いこなせます。

丈夫で持ちやすく、サビにくいアルミ製です。

製品仕様

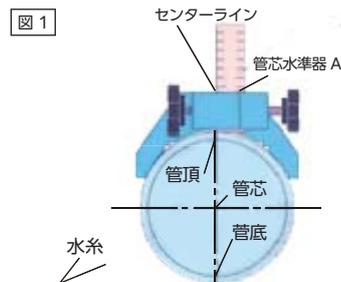


規格	型番	対応管	測定		付属品
			管上	管内	
カンシンクンジュニア I	KJR-1	塩ビ管		—	30 cmスケール
カンシンクンジュニア II	KJR-2	塩ビ管 ヒューム管 陶管	Φ100 S Φ500	Φ150 S Φ500	60 cmスケール 管底出しゲージ 専用ケース

カンシンクジュニアⅠ 使用方法 [管上設置のみ]

管芯・管底の合わせ方 [図1 参照]

1. パイプの上にカンシンクジュニアⅠを乗せ、管芯水準器 A を水平になる様に調節すれば、図1の様に管芯・管底がセンターラインに合います。
2. スケールを管頂にあて固定すれば、管頂よりの寸法を読み取ることができます。



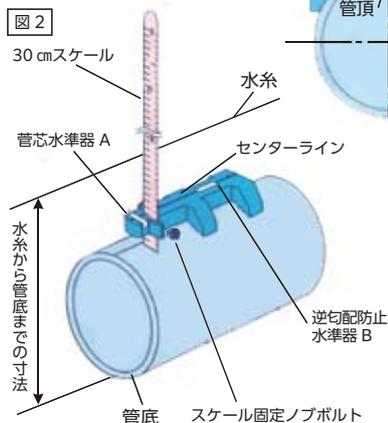
通り芯の合わせ方 [図2 参照]

水系にて合わす場合

1. 上記の方法で管芯を合わせます。
2. カンシンクジュニアⅠのセンターライン側のスケールに水系をあてます。

トランシットにて合わす場合

1. 同様に管芯を合わせます。
2. トランシットにてカンシンクジュニアⅠのスケールを視準します。

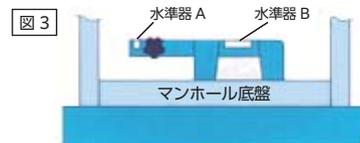


管の逆勾配の確認 [図2 参照]

逆勾配防止水準器 B にて、管の逆勾配の確認ができます。

マンホール底盤の水平合わせ [図3 参照]

マンホール底盤の上に置き、水準器 A・B を水平になる様に調整します。



カンシンクジュニアⅡ 使用方法 [管上・管内設置兼用]

管芯・管底の合わせ方

- ◆ 管芯水準器 A を水平になる様調整すれば、センターライン上に合います。

管内にて使用する場合 (おもに陶管、ヒューム管)

1. 管底芯出しゲージ及びスケールを仮止めし、管内に設置します。
2. 管芯水準器 A を合わせ、管底に管底芯出しゲージをあて固定します。
3. スケールを管底芯出しゲージにあて固定すれば管底よりの寸法を読み取ることができます。

管上にて使用する場合 (塩ビ管)

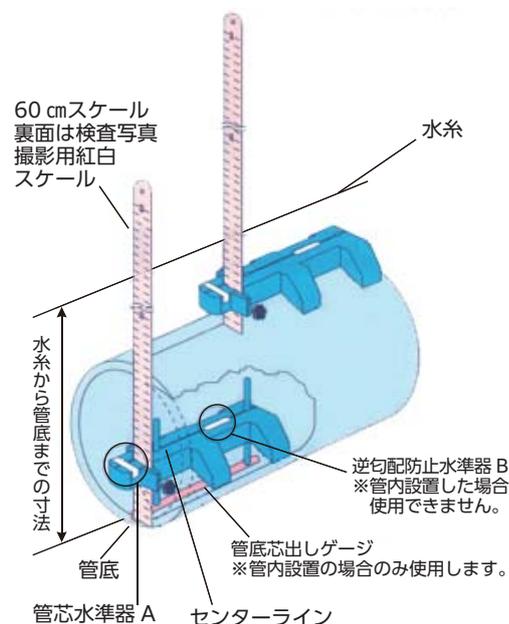
管芯水準器 A を合わせ、スケールを管頂にあて固定すれば、管頂よりの寸法を読み取ることができます。この時、管底芯出しゲージは使用しません。

通り芯の合わせ方 管の逆勾配の確認

マンホール底盤の水平合わせ は

カンシンクジュニアⅠと同様の方法で行います。

※但し、管内設置した場合は、管の逆勾配の確認は行えません。



仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



土木・建築工事の省力化に貢献する
株式会社 **ホーシン**

本社 〒571-0017 大阪府門真市四宮 3-10-34
TEL.072-885-5433 FAX.072-884-3953

<お問い合わせはこちらから>



<営業拠点> 東京支店 / 東北支店 / 中部営業所 / 大阪営業所 / 広島営業所 / 九州支店

240517(Ver.1.00)